

表7 「心理的支援」の因子分析 (N=1,218)

		因子1	因子2	因子3	因子4	共通性
規則の緩和	学校生活全体の自由度をあげる	0.702	0.300	-0.082	0.205	0.631
	進級規定を甘くする	0.688	0.114	0.026	0.155	0.511
	自由通学で自分のペースで学べるシステムを作る	0.683	0.163	0.115	0.044	0.508
	校則を甘くして、規則でがんじがらめにしない	0.605	0.263	-0.038	0.107	0.448
教師の対応の改善	専門学校のように1つのことを徹底的に学べるようにする	0.512	0.088	0.309	0.108	0.377
	転入・転学がしやすいシステムにする	0.487	0.111	0.305	0.095	0.352
	科目選択ができるだけ自由にする	0.466	0.335	0.313	-0.024	0.428
	先生方は、生徒に対して偉そうに接しないようにする	0.360	0.632	0.092	0.000	0.538
柔らかな学校システム	先生は、生徒の気持ちを勝手に決め付けない	0.083	0.565	0.128	0.180	0.375
	先生が、私たちの気持ちを真剣に聴くようにする	0.030	0.565	0.255	0.252	0.448
	先生方は生徒に対して乱暴な口のききかたをしない	0.198	0.555	0.145	0.146	0.389
	先生は、生徒のことを信頼する	0.192	0.526	0.164	0.246	0.401
み教師りの歩	成績のみで評価をしない	0.289	0.505	0.252	0.087	0.410
	生徒・保護者も先生を評価できるようにする	0.265	0.494	0.235	0.008	0.369
	授業のやり方を工夫し、とにかく面白くする	0.257	0.445	0.196	0.281	0.382
	学校の先生でない人にも先生として教育に参加してもらう	0.088	0.182	0.604	-0.044	0.408
柔らかな学校システム	生徒同士助が助け合える仕組みを作る	-0.007	0.251	0.531	0.283	0.425
	授業の中に、体験的な学習を増やす	0.138	0.334	0.491	0.173	0.402
	カウンセラーの人数を増やす	0.035	0.090	0.463	0.183	0.257
	クラスの集団を小さくする（20人学級等）	0.043	0.044	0.460	-0.022	0.216
み教師りの歩	授業中は、先生と生徒が対話をできるように工夫する	0.226	0.274	0.454	0.330	0.441
	勤労体験（職場体験）も、卒業の単位として認めるようにする	0.332	0.330	0.435	-0.040	0.410
	先生は、本当の友達のように生徒の相談にのる	0.201	0.377	0.141	0.662	0.641
	生徒と教師が友達のように過ごせる学校にする	0.316	0.248	0.129	0.572	0.579
因子寄与率		13.970	13.572	9.788	5.774	
累積寄与率		13.970	27.543	37.330	43.104	
△係数		0.831	0.832	0.754	0.771	

因子抽出法：主因子法 回転法：バリマックス回転

第4節 「中途退学の原因」に関する考察

1. 「中途退学の原因」に関する高校生の認識

「中途退学の原因」に関する高校生の認識については、公立高等学校と私立高等学校の生徒では微妙な認識の相違があった。

公立高等学校生徒は、「個人的理由」が「中途退学の原因」としては影響度が大きいと考えている。「対教師関係」による影響度も大きいと考えており、「中